

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出時は職員数を増やし、以前行っていた遠出の外出を企画し、お弁当を食べたり、転居された入居者の面会もできればと考えている。	日常的な外出支援として少し遠出の外出を年2回計画し、それを実施していく。	老健施設エスポアーそとめに車の手配をお願いし、それに見合う職員の数を確保し、入居者に負担のかからない場所を探して遠出の計画をして実施する。	12 ヶ月
2	52	今後も日々の楽しみや役割を増やすため、レクリエーションのレパトリーを増やすと共に、飾りつけの勉強を続け、入居者と一緒に飾り付けをしていきたいと考えている。	入居者や職員その他のアイデアを取り入れて居心地よく過ごせるように工夫していく。	入居者のできる役割を見出し、入居者に負担のかからない範囲で日常生活にアイデアを取り入れて実施していく。	12 ヶ月
3	5	運営推進会議で災害対策を検討しているが、台風等で倒木等が道路が閉鎖した場合も想定し、今後も長崎県と長崎市、地域の方と対策を話し合う予定である。	災害対策の一環として迂回路の新設を行政に働きかけていく。	運営推進会議を中心に自治会長や長崎市の職員を交えて問題点を話し合っていく。	24 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月